

日新

学校教育目標

美しい心

輝く知性

たくましい体



都留第二中学校 学校だより

第 6 号

令和6年9月24日 (火)

文責 学校長



<石花海祭 9月13日 開始集会 | 14日 午前：体育の部 午後：文化の部・閉祭式>



全校で繋いだ「第57回 石花海祭 (せのうみさい)」 ～記憶に残る「一日」～

ある生徒が閉祭式で「全校で協力できて石花海祭は大成功でした。」と感想を発表しました。

9月14日(土)に開催した「第57回石花海祭」は、大成功に終わりました。暑さ対策のため例年より実施時期を1週間繰り下げ、練習の時間や方法を工夫しながら取組や準備を進めました。

「繋(つな)ぐ ～全校で支え合い一歩上を目指そう～」というテーマのもと、生徒・教職員の全員が最大の力を発揮し、記憶に残る一日をつくりあげました。目標の「繋ぐ」を達成しました。

今回は、熱中症のリスクや移動の負担を減らすため、前日の13日(金)に「開始式(オープニング)」を行い、14日(土)の午前中に「体育の部(グラウンド)」,そして、午後に「文化の部・展示見学・閉祭式(体育館)」という日程です。

石花海祭の実施に向け、1学期の段階から生徒会執行部や各実行委員会が動き出していました。体育の部の「大縄跳び(全校共通種目)」,文化の部の「学年発表・学年合唱」,更には、完全復活した「全校応援」,部活動(吹奏楽部・文化部)発表など、見どころが凝縮された一日になりました。

前日の「開始集会」では、生徒会執行部が企画したオープニングセレモニーを実施しました。

当日、「体育の部」では、安全面や健康面重視のルールのもと、「大縄跳び」などの熱戦が繰り広げられました。特に、3名のブロック長さんのリーダーシップも素晴らしかったです。

午後は「文化の部」。インターナショナル・セーフ・スクール(ISS)の完成度の高い発表を皮切りに、吹奏楽部発表,文化部展示,そして「学年発表・学年合唱」。各学年の「渾身の歌声」が体育館に響き渡りました。また、前述の「全校応援」,生徒たちの一糸乱れぬ演技は見事でした。

生徒会執行部や3年生が様々な場面で先頭に立ち、全校生徒と教職員が一丸となって「絆」を繋いだ「石花海祭」。まさに、全校が「一歩踏み出した」素晴らしい一日になりました。

校長室レポート

～ところで「石花海」とは？～

本校の学園祭は「石花海（せのうみ）祭」です。校歌も「せのうみの 緑にはえて」で始まります。この「石花海（せのうみ）」とはどのような意味でしょうか。考えてみたいと思います。

辞書には2つ意味がありました。1つ目は「駿河湾西側の水深100m未満の浅堆(せんたい)。」2つ目は「富士北麓にあった湖の名。貞観6年（864年）富士山の噴火で、本栖湖、西湖、精進湖に分断された」というものでした。従って、校歌でも「雪をおく 久遠の峰よ 大富士は・・・」と続くことから、2つ目の「富士北麓の湖の呼称であると考えられます。また、晴れた日には学校からも霊峰富士を仰ぐことができます。その富士が私たちに対して「高い理想」や「輝く未来」の実現を期待しているということです。遙か十数キロ先の富士や石花海から続く都留の地で、作詞者の深澤泉先生（当時の桂高校校長）は、その願いを校歌に託されたのだと思います。

57年前に本校の学園祭が「石花海祭」と名づけられたのも、同様の願いがあったに違いありません。「校歌」や「せのうみ」に込められた思いを私たちはこれからも大切にします。

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

～本校の傾向は～

4月18日（火）、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。対象は全国の中学校3年生です。本校の3年生も国語・数学・質問調査の各調査を受けました。本校の調査結果の概要をお伝えします。＜4月時点の調査であるため、あくまでも参考資料＞

*国語：「話の趣旨を捉える問題」は正答率が高かった。一方「内容を解釈する問題」は低かった。

*数学：全体的に正答率が低い。「等式の変形」や「データの比較」の問題は特に低かった。

*質問調査（特徴的なものを抜粋）：

- ・「いじめは絶対にいけない」や「人の役にたちたい」の肯定的回答は、非常に高い数値。
- ・学習の項目で高い数値は「授業で学んだことを次の学習や実生活に生かすことができる」。
- ・「地域とのつながり」や「学級での話し合い活動」の項目も、高い数値が得られた。
- ・「学習時間確保」が大きく不足している反面、スマートフォンやゲームの時間が非常に多い。

「防犯弁論大会 最優秀賞！」

～演題：誰もが安心して過ごしていくために～

「大月警察署管内中学生防犯弁論大会」が、8月下旬に行われました。そして、本校の〇〇〇〇さん（3年）が見事「最優秀賞」を獲得しました。特に「表現力が抜群だった」そうです。なお、〇〇さんは代表として県大会（今月下旬）に出場します。県大会での活躍も楽しみです。では、弁論の一部を紹介します。・・・その時、友人は私の話を親身になって聞いてくれて

「困ったら俺を頼れ。お前らしく頑張ればいいんだよ。」と励ましてくれたことが今でも強く心に残っています。その言葉で私は不安も晴れて、前を向いて頑張ろうと思うことができました。

そして、最後は「身近な人との心のつながりを深め、温かい言葉を大切にしましょう。」と、という言葉で弁論を力強く締めくくりました。